

OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



プロフィール (Profile)

氏名	植田 迅
所属	工学域電気系学類
学年	3年
留学先	台湾国立中央大学
留学期間	2023/2/6~2023/6/18

留学レポート Study Abroad Report

(留学の感想)

私は今回台湾に留学したのですが、台湾は本当に安全な国だなと感じました。海外なので、日本よりも気をつけて行動する必要があるのですが、台湾に関しては、日本以上に安全なのではないかと感じました。人生で初めての長期留学なので、安全面に不安があったのですが、夜道を一人で歩いても問題なかったです。各地を観光したのですが、台湾は小さい国なので、行きたいところは全て行けました。4ヶ月半という短い期間で、周りきれるので、ほどよい大きさでした。今回私は1年の留学ではなく、半期分の4ヶ月半のみにしたのですが、ちょうど良かったです。あと半年台湾にいるとなると、観光するところもなく、勉強するのみになっていたと思います。留学は国土の大きさを考えて期間を決めるのが良いのだなと体感しました。

(留学しようと思った理由)

1番の理由は、長期の留学をすることで、海外で生活することに慣れたかったからです。私は将来海外で活躍できる人になりたいので、大学の学部で1度留学しようと思っていました。台湾に留学することに決めた理由は、中国語と英語の2か国語練習できるからです。実際留学してみて、2か国語練習できるのはコスパがいいなと感じました。また、台湾は親日の国なので、日本人は歓迎されやすいというのも決め手になりました。実際日本人というだけで、ちやほやされました。みんな日本の漫画やアニメが大好きです。

(留学のメリット、デメリット)

基本的にメリットばかりだと思います。留学することで、海外で生活する能力が身につきます。具体的には、自分で海外ホテルを予約したり、飛行機を取ったり、知らない土地に観光に行ったり、そこへの道を調べたり、食事を管理したり、生活用品を揃えたりなどです。全く知らない異国で生活できるようになるので、今後海外に行くハードルがかなり下げられると思います。また、他の留学生との交流を通して、全く知らない国の内情を知ることができます。自分ではなかなか調べてもリアルはわからないので、いい経験でした。

デメリットとしては、私は英語の発音がよく、英語でのコミュニケーションは問題がないので、困らなかったのですが、英語が話せないと、メリットが少ないかなと思います。台湾に留学する人は基本的に中国語を学びに行くと思うので、逆に英語は流暢に話せることが必須だと思います。また、台湾は物価が安いので、そこまでお金はかかりませんが、アメリカなどに留学する方は、金銭的な負担が大きく、その金額に見合うだけの経験が得られない可能性があるかもしれません。デメリットになるか分かりませんが、基本的に留学先で取得した単位は日本の大学の単位には認定されないの、自分の興味ある分野以外授業をそこまで取る意味がないです。たくさん授業を取るよりかは、1つの授業を深めたり、自身で考えて行動した方がいいのではと思います。

(留学中のハプニング、困ったこと)

1番最初に困ったことは、お金の引き出し問題です。台湾は現金が基本の国なのですが、キャッシュカードもある程度利用できると思っていましたので、現金は15万円ほどしか持っていませんでした。しかし、本当に現金しか使えないところが多く、お金が尽きてしまうところでした。海外キャッシングという制度を使い、クレジットカードを使って、ATMで引き出せるようにしてから、ようやく不安が解放されました。最初の2週間は本当に焦りました。

次の困ったことは、専門の授業です。もともと授業で英語と中国語の併用と聞いていたので、なんとかついていけるだろうと思っていたのですが、学部生の授業では、基本中国語しか使いません。英語を使うのはスライドで使用する程度で、教授の中国語が聞き取れないと本当にわかりませんでした。専門の授業を取りたかったのですが、なくなると諦めることになりました。自分は留学中に他にやるべきことがあったので、暇ではなかったのですが、自分の活動がない人は注意した方がよいと思います。

その次に困ったこととしては、食事です。私は台湾の食事が苦手でした。最初の2ヶ月は各地を観光するのもあり、台湾の料理にたくさん挑戦したのですが、正直私の口には合いませんでした。友人と食べたインドネシア料理や日本料理の方が美味しかったです。食事の好みは個人差があるので、日本人でも台湾の料理を美味しいと感じる人はいました。台湾に留学する前は、日本で一度本場の台湾料理を食べて、美味しいと感じるか確かめてからくるのがおすすめです。食事が合わないと案外ストレスに感じます。

最後に困ったことは、ルームメイトとの生活リズムの差です。ルームメイトはとても優しく、色々サポートしてくれ、英語も流暢なので、良かったのですが、生活リズムだけが厳しかったです。彼は毎日4時に寝るので、こちら寝る時間が遅くなりました。早く寝ても、シャワーの音や、光で目が覚めるので、寝るのが難しかったです。ルームシェアは初めての経験だったので、全く想定していませんでした。ルームメイトは心強い存在ですが、生活リズムは違うことは認識しておいた方がよいと思います。

(クラブ活動)

私はコーヒークラブに所属しました。週1回活動があり、コーヒーの作り方やラテアートをやります。英語を話せる人が教えてくれますが、基本中国語です。見様見真似で真似してました。作ったコーヒーはみんなでシェアして飲みます。私は参加していませんでしたが、他にもクッキングクラブや、ピアノクラブ、ダンスクラブ、その他運動クラブ、スマブラクラブなどたくさんのクラブ活動があります。日本と違うところは、台湾は寮生活なので、遅くまでクラブ活動をしていることです。コーヒークラブでは、いつも9時くらいまでみんなでコーヒーを飲んでいました。

(大学の施設、学生の様子)

台湾の大学は日本よりもかなり大きく、さまざまな施設が誰でも使えます。これは中国でも同じだそうです。施設としては飲食店、コンビニ、バス停はもちろん、たくさんの寮、日用品店、無数のウォーターサーバー(水には困りませんでした)、スポーツ施設、自習室、ジム、自転車屋さん、公園(休日は家族連れがよくピクニックに来ていた)などがありました。ただし、大きな食堂はありませんでした。私はジムに通っていました。1ヶ月2000円ほどで、いろんな器具でトレーニングできるので、安いと思います。

次に、学生の様子についてですが、台湾の学生は基本的にかなり勉強します。そもそも授業の時間がかかり長いです。夜遅くまで授業があり、夜中の1時に授業が終わるのこともあります。留学生はそのような授業は取れないです。また、課題も日本より多いので、ずっと勉強しています。試験週間(1ヶ月もある)では、自習室が24時間開放になります。徹夜で課題している人をよく見かけました。自習室が長い時間使用できるのはいいことだと思います。

(自分の寮について)

新築なので、大変綺麗でした。寮によってあたりハズレがあるので、運が良かったです。また、家賃が半期あたり8万円なので、1ヶ月2万円以下で滞在できます。正直破格の値段で驚きました。私の大学は台北から少し離れてるので安いのもかもしれません。韓国のソウルと同じように、台北だけ地価が高いと聞きました。台北にある大学ではもう少し高いかもしれません。

(大学の周り)

大学の周りには2つの飲食店街があります。日本料理屋さんが複数あるので、安心です。ある店の店主とは顔見知りになりました。1つの飲食店街は夜遅くまで空いている(深夜も空いている)ので、自習室で勉強を終えた学生たちが行っていました。大学から一番近い駅までは自転車で20分ほどで行け、その駅にはたくさんの飲食店や、携帯ショップ、服屋、電気屋があるので、生活に困ることはありません。台湾でも比較的発展している駅だと思います。ちなみに中壢(ジョンリー)駅と言います。

(総括)

今回の台湾留学を振り返ってみると、留学に行く前は想定していなかった良い点、問題点など様々な体験することが出来ました。今回の一番の教訓は、実際体験しないことには分からないことが多いということです。ネットが発達し、調べればなんでもわかると思っていましたが、それは間違いでした。4ヶ月半という短い期間ですが、自分としては満足行く留学になったと思います。帰国後も中国語の勉強を継続し、また、他の言語にも挑戦しようと思います。

最後に、世界は広い!

